

A Very First Step to Think Critically (with J-E Exercise)

“クリティカル・シンキングを 英語授業に”

授業・
解説

内田 浩樹

国際教養大学大学院
英語教育実践領域教授

商品番号 E107-S DVD [全1巻・93分] 8,000円+税(送料別)

【協力】英語教育・達人セミナー 【授業クラス】ハ戸聖ウルスラ学院高等学校1年生



議論を進めるために
必要な情報を導き出す力を育てる!

「考える」活動を含んだ
授業実践への発展!



《授業の流れ》

注目!! AIU 内田先生のワンドショット授業!!

英語で授業をすることが一般的になりつつある中、定型文のやりとりを学ぶロール・プレー的なコミュニケーション授業から、生徒自ら意見を持ち、それを伝えていく授業、すなわち「考える」活動を含んだ授業実践へ発展させていくという動きが全国各地で見られます。

「クリティカル・シンキング」はよく知られたスキルですが、英語の授業で実際にどのように指導するのかという例はなかなか知る機会がありませんでした。この授業では、最初に「よくある」形で生徒に考えるテーマを与えてみました。生徒は考えるポイントが見つけられず、議論が散漫になっている様子をご覧ください。

クリティカル・シンキングはその名の通り、プラスの側面とマイナスの側面を「区別」しながら考えていく作業です。ですから、初期段階では、そのような考え方ができるようにトピックを適切な形で提示する必要があります。

次に、少々範囲の広いトピックが与えられても議論すべき点を見つけ出す力を導くような訓練が必要になります。

「考える」授業を調査、発表と連携させて、プレゼンテーションまでさせてしまうという授業が多く見られますが、それは性急に過ぎます。考える作業は、調べる作業とは全く別ですから、「考える」作業にフォーカスを当てた授業が必要です。

**つまり、クリティカル・シンキングの初期の訓練においては
結論に到達する必要はない、
結論を出すためにはどんなことを知っていかなければならないか
(=どのようなデータが必要か)といったことを
導き出す力を育成することが最優先なのです。**

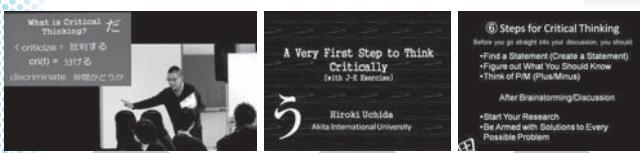
この授業全体において、辞書を使わずに考えを述べるように促しました(J-E Exercise)。将来ディスカッションも英語で行う段階に入ったときに、クラスメートに意見が伝わるようにするために大変重要なスキルです。

本授業では、通常は5回ほどの授業で行う訓練を1回に凝縮しておりますが、実際の授業では

①プラス・マイナスを見つける

②議論を進めるために必要な情報を見つけ出す

と、段階を分けて指導することが望ましいと考えます。



授業で使えるパワーポイントスライドと生徒配布用のハンドアウトを資料として添付!!

インターネットからのDVDご注文は…… www.japanlaim.co.jp/ サンプルムービー配信中!

ダウンロード版

ダウンロード版をご希望の方は:

専用サイト

<http://www.jlc-download.com/>

へアクセスし、パソコンからご購入・ダウンロードしてください。
(お支払い方法はカード決済のみとなります)

DVD版

- ご希望の商品番号を指定し、電話かハガキ、FAX、もしくはDVD通販サイトにてお申込みください。受注確認後3~6営業日後でお届けします。
- 到着日指定で「代金引換(手数料無料)」の宅配便でお送りします。
※送料は1回につき500円+税。
- 学校公費及び教育機関、また個人研究費などでご購入の場合は、必要書類は担当者までお申し付けください。※通販サイトの公費FAX申込み書類でも購入可。
- カード(VISA、MASTER、AMEX、他)もご利用できます(分割も可)。

○お申し込み・お問い合わせはお気軽に!

JLCジャパンライム株式会社

TEL.03(5840)9980

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-14 本郷竹下ビル4F

FAX.03(3818)6656

2015.07